

# 総合診療科



診療科動画



診療科HP



## 1. スタッフ

教授	まつい	くにひこ
	松井	邦彦
医員	はやかわ	かなみ
	早川	香菜美
医員	しもじ	てつ
	下地	徹
医員	ほんだ	こうすけ
	本田	宏介
医員	にしとみ	ゆうや
	西富	友哉

(地域医療・総合診療実践学寄附講座)

特任准教授	あらき	さとし
	荒木	智
特任助教	さどはら	みちと
	佐土原	道人
特任助教	きたむら	たいと
	北村	泰斗
特任助教(河浦教育拠点)	つるだ	しんぞう
	鶴田	真三
特任助教(くまもと県北教育拠点)	なかむら	たかのり
	中村	孝典

(地域医療支援センター)

特任助教	たかやなぎ	ひろし
	高柳	宏史

## 2. 特徴・診療内容

総合診療科では、内科領域の一部門として、特定の臓器や疾患等によらない横断的な内科診療を提供している。どの臓器の問題なのか明らかでない場合や、多彩な症状を訴えるために受診する診療科が明らかでない患者の初期診療を、専任医師が行う。必要に応じて専門診療科への紹介や、総合診療科で継続した診療を行っている。基本的には、最先端・高度医療の提供は行わず、身体的な問題のみならず、心理的・社会的問題についても可能な限り対応する診療を実践するのが総合診療科外来の特徴である。

当科のスタッフ医師には総合内科専門医3名、家庭医療専門医3名、総合診療専門医3名が在籍している。

## 3. 診療体制

### 1) 総合診療外来

総合診療科(1名)、地域医療支援センター(1名)、地域医療・総合診療実践学寄附講座(3名)及び災害医療教育研究センター(1名)の医師で外来診療を担当している。

- (月曜) 荒木 [初診・再診]
- (火曜) 松井 [初診・再診]・笠岡 [再診]
- (水曜) 高柳 [初診・再診]
- (木曜) 佐土原 [初診・再診]
- (金曜) 北村 [初診・再診]

### 2) 救急外来(ER)

当科は総合診療外来に加えて、救急外来での診療も救急部医師と共に行っている。

## 4. 診療実績

### 1) 総合診療外来

年度	外来新患者数	外来再診数
2023年度	234名	928名
2022年度	194名	844名
2021年度	171名	723名
2020年度	163名	656名
2019年度	217名	731名
2018年度	227名	793名

### 5. 地域医療への貢献

- ・各地域への地域医療支援に関しては、くまもと県北病院、天草市立河浦病院、天草市立御所浦診療所、上天草総合病院、天草地域医療センター、小国公立病院、阿蘇医療センター、そよう病院、有明医療センターにおいて、外来診療支援及び当直診療支援を行った。
- ・松井が熊本県地域医療対策協議会等の委員を務め医療政策提言を行っている。

### 1) 研究会やカンファレンス

- (1) 合同Webカンファレンス
- (2) 熊本大学総合診療セミナー
- (3) 総合診療グラウンドラウンド

## 6. 医療人教育の取り組み

### <教育拠点>

「地域医療・総合診療実践学寄附講座くまもと県北教育拠点(旧:玉名教育拠点)」は教育・研究・診療等全ての面において高い評価を得ている。また、令和3年4月1日に天草市立河浦病院に「河浦教育拠点」を設置し、総合診療科の専攻医が配属されている。

### <卒前教育>

#### ① 地域医療ゼミ

地域枠学生等(熊本県医師修学資金貸与学生)を主な対象に実施している地域医療ゼミは、今年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、主に対面形式での開催となった。「多職種連携」「コミュニケーション」をテーマにした講演や「シネメデュケーション」、「熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラム」の説明等合計11回の活動を行った。

## ② 地域医療特別実習

地域医療特別実習は、将来、熊本県の地域医療に携わる熊本県医師修学資金貸与学生（熊大生）及び熊本県出身自治医科大生が、地域医療の現場に接することによって、地域医療の現状を知り、問題点を自ら学び、さらには地域医療の魅力を発見することを目的として毎年夏に開催してきた。今年度は、令和元年8月以来4年ぶりの実施となった。8月16日～17日の日程で天草上島・御所浦地域において実施した夏季地域医療特別実習には、20名の貸与学生及び自治医科大生が参加した。さらに、12月25日～26日の日程で阿蘇地域において実施した冬季地域医療特別実習には、大学の試験等のために夏季地域医療特別実習に参加できなかった12名の貸与学生が参加した。

## ③ その他授業、実習等

### 【総合診療学】

本年度は、「身体診察概論」「臨床推論概論」「臨床推論演習」、および「総合診療概論」のテーマで、昨年同様全10コマを担当し、試験実施と評価を行った。

### 【地域医療総合演習】

令和4年度の文部科学省の「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」で採択された長崎大学、熊本大学、鹿児島大学の3大学による「次世代型教育で作る連携教育拠点構築プロジェクト～地域と暮らしを支える医療人の育成～」の教育プログラム・コースの一つとして、新たに開講したプログラムである。本演習では、教育指導のために必要な基礎的な知識や技術について全8コマで学修する。履修生は地域医療に関連したテーマを定めて、他学年の地域枠学生に教育を行う。初年度となる本年度は、医学科5年次の地域枠学生6名が履修し、修了した。

### 【特別臨床実習（総合診療）】

大学病院、くまもと県北教育拠点、河浦教育拠点の3か所で実習を実施した。大学病院11名、くまもと県北26名、河浦7名の合計44名に実習を提供した。

### 【その他】

医学部からの協力依頼に基づき、公衆衛生学、臨床実習入門について、当科教員、地域医療・総合診療実践学寄附講座教員及び地域医療支援センター教員で授業の一部を担当した。

## <卒業教育>

### ① 臨床研修医

熊大病院群初期臨床研修プログラムで総合診療科（大学病院）を選択した初期臨床研修医1人に対し、総合診療・地域医療に関する教育指導を行った。

## ② 専攻医

当科では、新専門医制度における「熊本大学総合診療専門医プログラム」の専攻医6人に対し教育指導を行った。また、研修の支援・指導の充実を図るため、Zoomを用いた個人面談の頻回実施と、レジデントデイは4回開催した。さらに、テレビ会議システムを活用し、今年度は6回、症例検討を遠隔で指導するとともに、専攻医等の研究発表をテレビ会議システムを通じて各病院へ配信した。（合同Webカンファレンス）

本年度の当プログラムの応募状況は採用者1名であった。

## ③ 大学院生

令和3年度から臨床疫学研究を中心に、総合診療関連の研究を行っている。大学院生の教育を含め、幅広いテーマを対象とした臨床研究を開始しており、令和5年度の入学者は1名であった。

## <卒前・卒後教育>

地域枠学生等をはじめ、医学科学生、研修医及び総合診療に関心のあるすべての医療従事者等に対し、熊本県内（九州内）の総合診療医の連携強化及び他専門科への総合診療の知名度向上のため「総合診療セミナー」を、総合診療への理解がより深まるよう「総合診療グランドラウンド」を毎年継続して開催している。

### 【総合診療セミナー】

- 9月20日 第13回 総合診療セミナー  
「もう一度“DNAR”を勉強しなそう！」  
講師：熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座（くまもと県北教育拠点）  
中村 孝典 先生

### 【総合診療グランドラウンド】

- 10月19日 第19回 総合診療グランドラウンド  
「プライマリ・ケア外来での聴き方  
-Well-being 迫る医療面接-」  
講師：まどかファミリークリニック  
院長 加藤 光樹 先生
- 12月21日 第20回 総合診療グランドラウンド  
「アンゴラ共和国からの報告：総合診療医の軌跡」  
講師：外務省在アンゴラ日本大使館参事官兼医務官  
高橋 理 先生

## 7. 研究活動

- 臨床現場での多重課題における意思決定要因の解明  
分担：松井邦彦（基盤研究(A)代表研究者：小山博史）
- 粒子状物質による急性心筋梗塞や院外心停止の発症および発症メカニズムの解明  
分担：松井邦彦（基盤研究(C)代表研究者：小島淳）
- 日本医療研究開発機構 研究公正高度化モデル開発支援事業 医療分野の「責任ある研究・イノベーション(RRI)」推進に資する取り組み 松井邦彦（AMED 分担）